

平成27年12月 定例委員会々議録

1 日 時 平成27年12月25日(金) 午後1時30分～

2 開催場所 会議室101、102

3 出席委員の氏名

委員長	齋藤 和夫	委員長職務代理者	黒川 優子
委員	山崎 克弥	委員	中野 信男
委員	秦 久美子	教育長	上原 洋一

4 欠席委員の氏名 なし

5 説明のため出席した職員

教育次長	金子 彰男	主 幹	長谷川 智
学校教育課長	山田 公一	子育て支援課長	宮路 豊行
社会教育課長	堀 克彦	指導主事	佐藤 浩一
学校教育課課長補佐	吉田 雪子		

6 本委員会書記

学校教育課 加藤 篤 聡 他3名

7 傍聴人

1名

8 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 共催・後援の教育長専決報告(1件)

協議題

- (1) 新規共催・後援申請について(1件)

議案

議案第51号 燕市立児童クラブ延長保育事業実施要綱の制定について

そ の 他

- (1) 燕市 I C T 教育推進協議会提言について【資料No. 2】当日配布
- (2) 平成 27 年度第 4 回燕市議会定例会議案（教育委員会関係）
 - ・ 燕市立認定こども園条例の一部改正について[議案第 69 号]
 - ・ 燕市児童クラブ条例の一部改正について[議案第 70 号]
 - ・ 指定管理者の指定について（燕市立図書館 ほかに 2 施設）[議案第 75 号]
 - ・ 指定管理者の指定について（燕市西燕公民館）[議案第 76 号]
 - ・ 平成 27 年度燕市一般会計補正予算（第 5 号）[議案第 78 号]
 - ・ 市議会 12 月定例会一般質問について
 - ・ 議員協議会協議題
 - 燕市東部学校給食センター建設事業の基本設計概要について【資料No. 3】
 - 第 2 次燕市生涯学習推進計画（案）について【資料No. 4】
 - （仮称）燕西児童クラブ改修工事の概要について【資料No. 5】
 - 燕市中央公民館改修（増築）事業の基本設計概要について【資料No. 6】

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後1時30分～

2. 会議録署名委員の指名 秦 久 美 子 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

《各課長が報告》

○委員（中野 信男）

学校教育課の「平成27年度第2回燕市教育支援委員会」とあるが、内容について概要を説明願いたい。委員会のメンバーはどのような構成となっているか。

○指導主事（佐藤 浩一）

これまでは就学指導委員会と呼ばれていたものが、改称されたものである。小中学校へ進学、あるいは進級する際に、普通学級から特別支援学級へ籍を移す児童生徒、個別の事柄についてどのように教育したらよいか、検討する場である。メンバーは小中学校長の一部と各校の特別支援コーディネーター、幼稚園からも出席していただいている。

(2) 教育長報告

〈上原洋一教育長が報告〉

●12月定例市議会報告（12月10日～15日）

- 一般質問19人中教育委員会には8人から38項目について質問があった。主なものは、以下のとおり。
- 中学校における運動部活動について。各学校の部活動が、校長のリーダーシップのもと、組織的計画的に行われるよう指導に努める。
- 中学校内におけるスマートフォンの使用について。関係機関と連携し情報モラル教育の推進、保護者への意識啓発に努める。
- 学校図書館の今後の展開について。全小中学校に図書管理システムを導入した。今後も児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動の充実に向け支援する。空き教室の利用は紹介していく。
- 学校プールについて。今後も学校プールを有効活用していく。
- 不登校対策について。各学校が、児童生徒が学ぶ意欲を持ち安心して通える、よりよい学校づくりを進めることや、支援を要する児童生徒へのきめ細かな取組により解消が図られるよう支援に努める。
- 児童の暴力行為について。市内小学校では平成25、26年とも2件ずつ。

○東京五輪パラリンピック合宿誘致について。誘致活動を行ってきたところ、パラリンピックのアーチェリーでモンゴルから受け入れ要請があった。

●**燕キャプテンミーティング（12月23日～25日 吉田産業会館）**

○講演、コミュニケーション活動等とおしてキャプテン、リーダーとしての役割を学び、課題解決能力やコミュニケーション能力を育むことを目的として開催。3日間でのべ173人（昨年96人）が参加。

○23日の開講式では市内中学校の1、2年生を代表して燕中2年生水泳部長伊藤さんから決意の言葉が力強く述べられた。その後、「キャプテン経験者の立場から」と題し、伊藤圭祐さん（平成18年全中軟式野球3位）から講演、その後質疑応答コーナーがあった。

●**その他参加した主な行事等**

○ 第4回燕ジュニア検定表彰式（12月2日 つばめホール）

○ 新潟県写真芸術協会授賞式（12月6日 新潟市ラングウッドホテル）

○ 教育支援委員会（12月8日 吉田産業会館）

○ 燕市文化会館運営審議会（12月18日 文化会館）

○**委員長（齋藤 和夫）**

議会質問で「中学校における運動部活動について」とのことだが、内容を聞かせてほしい。

○**主幹（長谷川 智）**

主なものは、終了時間が守られているかという確認と部活内での行き過ぎた指導はないか、体罰の問題はないか、という内容であった。現在、大きな問題はない。引き続き適正な部活動に努めたいと回答した。

○**教育長（上原 洋一）**

資料として一般質問の質問と答弁概要を添付してあるので、ご参照いただきたい。

○**委員長（齋藤 和夫）**

中学校の部活動については、昔から勉強とのバランスが重要と言われており、個人の自己実現のためには重要な要素でもあるが、行き過ぎの件が問題となるケースも多い。引き続き事務局には活動を注視していただきたい。

(3) 共催・後援の教育長専決報告

1件の継続後援申請について

《山田学校教育課長が報告》

4. 協議題

(1) 新規後援申請について

1 件の新規後援申請について
《山田学校教育課長が説明》

○委員（山崎 克弥）

内容的には良いものだと思うが、3 回目ということで、1 回目、2 回目の実績を尋ねたい。また燕市から参加者がいるのか。県内の他市町村の申請状況について把握しているか。

○学校教育課長（山田 公一）

1 回目、2 回目についてはタイトルが異なっているが、内容はほぼ同等と思われる。燕市は今回が初の申請である。他市町村の状況については、把握していない。

審議の結果、全員異議なく承認された。

5 議案

議案第 51 号 燕市立児童クラブ延長保育事業実施要綱の制定について

《宮路子育て支援課長が説明》

審議の結果、全員異議なく議決された。

6 その他

(1) 燕市 ICT 教育推進協議会提言について

《山田学校教育課長が説明》

○委員（黒川 優子）

提言内容は良いことだと思うが、問題は先生への負担が大きくなる点である。平成 22 年に吉田南小が国のモデル校として先行導入、3 年で高成績を得たが、次の年に成績が落ちた事例があり、先生のスキルも問われる。異動もあるので先生への研修が重要と思われる。ICT 支援員との意思疎通等、支援体制を整える必要

がある。

○委員（中野 信男）

電子黒板の役割とコンピューターとの関係、デジタル教科書の役割、またタブレットパソコンの台数は1学年分とあるが、整備構想について確認したい。

○学校教育課長（山田 公一）

電子黒板については、タブレット入力したものを単独または一括表示したり、書き込みも可能というメリットがある。デジタル教科書については、動画にも対応している。1学年分の考え方については、各校で最も多い学年の人数分の整備し、学年同士で融通するといった考え方である。

○委員（山崎 克弥）

県内で整備状況にかなりバラツキがある。また先生の異動問題はどうしてもあるため、計画通りに推進するのは難しい面がある。費用対効果の観点も考慮する必要がある。

○委員（秦 久美子）

県内での整備状況のバラツキに懸念がある。子どもたちの吸収力は早いので、むしろ指導する先生の研修のあり方、サポート体制、市全体でのバランス調整等が課題である。

○委員長（齋藤 和夫）

燕市は県内でも遅れている方だと認識している。ICTは積極的に整備計画を立てて、取組を進めていく必要がある。ハード面も大事だが、教育機器の整備も大事な問題である。また資料は1週間程度前までに提示いただきたい。

○委員（中野 信男）

教育現場のデジタル化は時代の流れもあり、問題点を踏まえた上で、積極的に推進する必要があると考えるが、企業の実例として、LAN環境が通信不能になると業務停止状態に追い込まれる実態がある。不測の事態に備えて、パソコン等に詳しい者が現場には必須である。CIO（責任者）を中心に環境整備をしっかりとす

る必要がある。燕市は三条市より遅れている状況である。時代の趨勢を踏まえ、積極的に整備を図る必要がある。

(2) 平成 27 年度第 4 回燕市議会定例会議案（教育委員会関係）

- ・ 燕市立認定こども園条例の一部改正について[議案第 69 号]
 - ・ 燕市児童クラブ条例の一部改正について[議案第 70 号]
- 《宮路子育て支援課長が説明》

○委員（中野 信男）

学童保育は大変ありがたい。学童保育に関して改善事項があれば積極的に進めるべきだが、例規等の改正頻度はどれくらいとなっているか。

○子育て支援課長（宮路 豊行）

今回は制度改正に伴うものと、以前からの要望等もあってアンケート調査も行い、対象学年の引き上げと時間延長を行った。改正頻度については、その時々状況を検討し、必要に応じて改正している。

○委員（中野 信男）

定期的に現場からの意見を聞くようお願いしたい。積極的に保護者の意見を園長から取り上げてもらい、現況に即した制度となるよう心がけていただきたい。

- ・ 指定管理者の指定について（燕市立図書館 ほか 2 施設）[議案第 75 号]
 - ・ 指定管理者の指定について（燕市西燕公民館）[議案第 76 号]
- 《堀社会教育課長が説明》

- ・ 平成 27 年度燕市一般会計補正予算（第 5 号）[議案第 78 号]
- 《宮路子育て支援課長、山田学校教育課長が説明》

- ・ 市議会 12 月定例会一般質問について
- 《金子教育次長が説明》

- ・ 議員協議会協議題

燕市東部学校給食センター建設事業の基本設計概要について

《山田学校教育課長が説明》

第2次燕市生涯学習推進計画（案）について

《堀社会教育課長が説明》

（仮称）燕西児童クラブ改修工事の概要について

《宮路子育て支援課長が説明》

燕市中央公民館改修（増築）事業の基本設計概要について

《堀社会教育課長が説明》

○委員（山崎 克弥）

平面図上、中央公民館と一体化していると見受けられるが、駐車場側から文化会館への通り抜けは、今後は出来なくなるのか。

○社会教育課長（堀 克彦）

通り抜けは可能であるが、増築扱いとなるので、一旦建物の中に入り、ホールを通過して文化会館側へ抜ける形となる。

7. 閉 会 午後3時30分

委員長 齋藤和夫

会議録署名委員

会議録調整者
